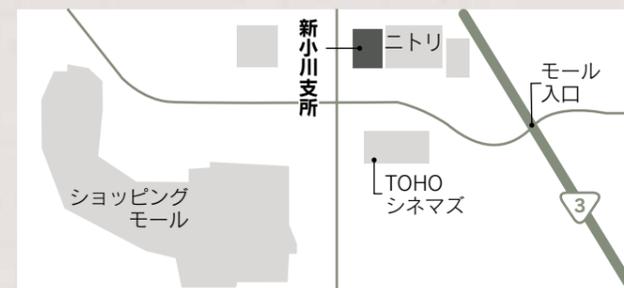


THE UKI NEWSLETTER

12月、小川支所がイオンモール宇城内へ移転 市民の皆さんが利用しやすい支所へ



新庁舎内イメージ 支所機能と市民の憩いの場が共存する環境が誕生します



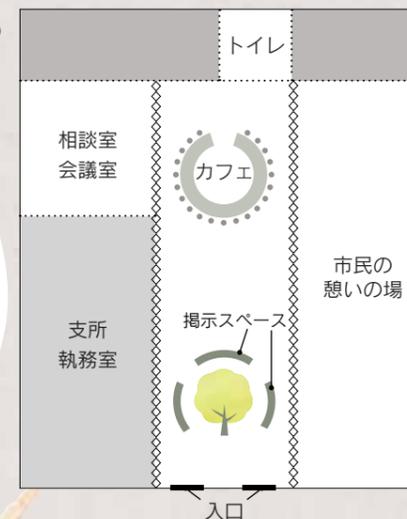
新たな役割を備えた支所

小川支所は、2014年からラポート内で業務を行っていましたが、来客者の待合スペースや相談スペースが十分に確保できない、執務室が狭いなどの課題がありました。これらの解決に加え、利便性向上や機能充実を目的に、イオンモール宇城（旧キッズU.S.ランド）への移転を決定しました。支所機能の全てがイオンモールに入るの全国初です。

移転に当たっては、地方都市の将

来像を見据えて、九州大学芸術工学研究院と共同研究。市民サービスは維持しつつ、従来のデスクスタイルからの変革など今後の市全体の業務改革モデルとなる空間の創出を目指しています。その他、障がい者施設が運営するカフェや、広い空間を利用した子育て世代の憩いの場も設置します。誰もが立ち寄りやすい施設を目指します。12月から新たな小川支所が始まります。

☎ 小川支所総合窓口課
(43) 1111



施設内の配置図

12月7日(月)
8時30分から
利用開始します。
皆さん、ぜひご
来庁ください☆



小川支所 総合窓口課
城 義博 主任主事

決算
超速報

市の財政は 改善を続けています

令和元年度の決算が9月に発表され、本市の財政状況を測る4つの指標は全て健全な状態でした。この指標は、健全化判断比率と言われ、北海道夕張市の事実上の財政破綻を受けて平成19年に財政健全化法で定められたものです。年度ごとの赤字や負債の状況を4種類に分けて確認します。

この法律では、財政状況を

- 健全段階
- 早期健全化(イエローカード)
- 再生(レッドカード)

の3段階に分類。各指標が悪化する、それぞれの区分で自主的な改善努力を促し、場合によっては国などが関与して確実な再生を図ることになります。

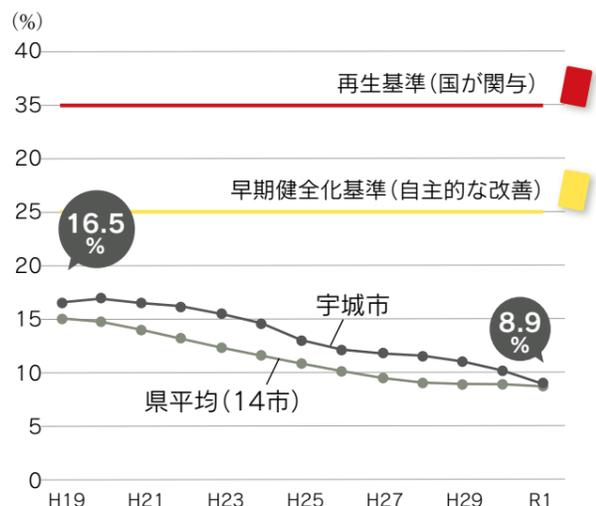
本市は、毎年会計上の赤字がないため、4つの指標のうち実質赤字比率(一般会計での赤字状況)や連結実質赤字比率(特別会計などを含む全ての会計を合算した赤字状況)の該当はありません。改善を続ける他2つの指標について、お知らせします。

☎ 財政課 (32) 1748

◆ 実質公債費比率

一般財源のうち、借金の返済にどのくらい使っているかを示す指標

※一般財源・・・市が自由に使える財源



実質的に借金の返済に使っているお金は年々減少しています

市が資金調達のため金融機関などから借金をする公債費の返済は、莫大な資金源がない限り短期間で削減や先送りすることが困難です。この指標が高くなるほど、財政の弾力性が低下し、他の経費の削減が必要となるほど収支が悪化し、赤字に転落する可能性が高まります。

市は、平成19年度以降「健全段階」に位置していますが、県内14市の状況を踏まえ、自主的な財政健全化の取り組みを進めた結果、年々改善しています。

◆ 将来負担比率

将来世代が負担する借金残高が一般財源に対してどれくらいかを示す指標

返済に有利な借金を活用することで 将来世代の負担が年々減少しています

この指標が高いほど、将来世代の負担が大きく、今後の財政運営が圧迫される可能性が高いことを示しています。

本市は、平成19年度以降「健全段階」で年々改善しています。これは、生活道路や学校施設などの整備に、借金返済の70%が普通交付税などで措置される合併特例債などの有利な地方債を活用したことや、公共施設の民営化や集約・複合化による財政負担の軽減などで基金の積み増しを図ったことが要因です。

